

# 観光と国際交流で魅力ある中部を

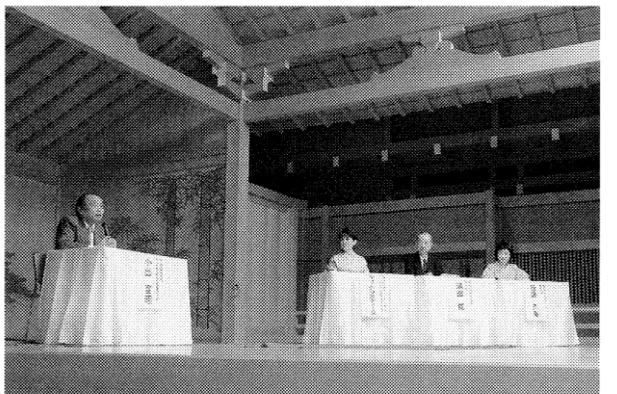
交流を拡大する  
魅力ある中部のかたち  
国土形成計画シンポジウム

## 万博が示した市民参加の力

二十一世紀にむかひ国土形成と中部の発展を促す「国土形成計画シンポジウム」が十一月二十日、名古屋市中区にある名古屋能楽堂で開かれた。主催は国土交通省中部地方整備局と中部運輸局。中日新聞社、愛・地球博の成果を踏まえ、魅力ある中部づくりのために人々の交流や国際交流をいかに広げ、深めていくか、四人の有識者が意見を交わした。会場に詰めかけた市民、行政関係者ら約四百人が熱心に耳を傾けた。



マリ クリスティーナ氏



これからの中部づくりについて語りあうパネリストたち  
一名名古屋市中区の名古屋能楽堂にて

本にしかないものです。彼らを迎えた側も自分の地域の見つけ直し、グリーンブリを取ったベネズエラの女性監督は地域の祭りに注目し、文化の共通性を見だし、それを映画にしてみました。二十一年の素晴らしい映画が完成したのは、受け入れ地域のホスピタリティのおかげだと思います。

小出 いい話ですね。国際交流というのは、私は段々のお付き合いでできるとは思っていない。世界で国際都市と言われているニューヨークとロンドンだけです。隣近所の、おだんの生活のなかにいろんな国の人がある。その点、東京は国際色のある都市といっただけで国際都市ではない。

そこでこの地域に昔話の国際交流が得意な国際交流特区をつくったとしたら、世界の物産が分るから、お互いの理解も深まると思つてほしい。

佐藤 面白いですね。でも、愛知には現在でも四十四万四千二百人の外国人が住んでいます。国連加盟国は百九十二ですから、たぶん人の国の人々が、すでにこの地域に住んでいて、隣に住む外国人の人と交流するのを考える時期に来ていると思います。

異文化への尊敬を  
マリ 私は日本へ来て、アイデンティティ・プログラムを体験しました。もともとは日本人であり、イタリア人でもあり、アメリカの文化も持つ人間だと思つていました。ところが日本へ来た日本人と見てもらえない。じゃ私は何なの、と。

今ではハルビヤン、ダブルであり、トリプルもあると考えると、外国人の人が日本へ来てつらいのは少数派になると思いますが、愛知には愛知の愛をもちますが、アジアの人を多く見たいですね。

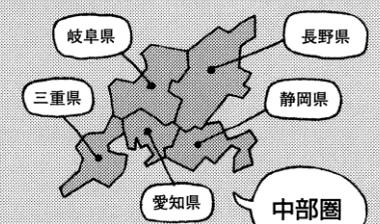
これからアジアとの付き合い合います。大切になるなかで、地域単位の交流を通じて、ただ相手の文化を理解し、尊敬する、そこから自分の国への知識も湧くと思つてほしい。

須田 その点でも、万博の成果をフルに生かすことが必要です。万博の出発点、他の地域や世界に忘れられないように交流を進め、それが中部の使命だと思います。

小出 ありがとうございます。

### 中部圏では？

計画づくりを進めるため、「中部圏広域地方計画協議会準備会」を設立しました。



※協議会準備会は、国の地方行政機関、県、政令市に加え地元経済界で構成しています。

### 全国計画の進み具合は？



このほど全国計画の策定に向けて国土審議会計画部会中間とりまとめが公表されました。そこから新しい国土づくりのポイントが見えてきました。

#### 中間とりまとめ 4つのポイント

#### 1 人口減少が国の衰退につながらない国土づくり

人口減少・高齢化の中でも、高質な公共サービスの提供、生活環境の維持が図られる方を示します。

#### 2 東アジアの中での各地域の独自性発揮

空間的視野を広げ、東アジアの中での地域の個性と魅力、国際機能を捉え直します。

#### 3 地域づくりに向けた地域力の結集

多様な民間主体を担い手として位置づけ、従来の公、さらに公と私の中間領域で協働することを期待します。〔「新たな公」〕

#### 4 多様で自立的な広域ブロックからなる国土

①～③を実現するため、広域ブロックを単位とする自立的圏域の形成という国土構造構築の方向性を示します。

## ホスピタリティの心は中部の財産

それから私、うれしかった。それは、一般の人にも交流やホスピタリティの心があったこと。長い歴史の中で「悪いですね」「どこから来たんですか」という会話が生まれたり、初めて会った人に「ジュースを買ってあげたりして」とか、成功はそれを示し、財産と

で始まりました。トラスへの寄付で相続時の農地を買い、自然を保全しようという民間の活動から生まれた制度です。保赤の作業では、万博の成功はそれを示し、財産と

の雇用があり、リタイアして地域の役に立ちたい人はホスピタリティの仕事がある地域。万博で新しい社会行動が生まれたこの時を逃さず、そういつか支えられる魅力ある地域になってほしいと思つています。

佐藤 はい、外国の人から見た日本ですかね。思いがけない映像や不思議な映像もたくさんありました。二十一年の監督が注目したのは、日

たんですが、とても温かく迎えてもらえました。帰国が迫ると「帰りたいくない、スケジュールを変更してくれ」といふ人もいました。空港で見送るときは、みんな涙、涙だったんです。

小出 万博会場でも映された映画も非常にユニークでした。

佐藤 はい、外国の人から見た日本ですかね。思いがけない映像や不思議な映像もたくさんありました。二十一年の監督が注目したのは、日

たんですが、とても温かく迎えてもらえました。帰国が迫ると「帰りたいくない、スケジュールを変更してくれ」といふ人もいました。空港で見送るときは、みんな涙、涙だったんです。

### 基調講演

#### 愛・地球博から学ぶ「交流と美しい国づくり」



須田 寛氏



佐藤 久美氏

パネリスト	須田 寛氏 東海旅客鉄道相談役
	佐藤 久美氏 英文情報誌「アベニューズ」編集長
	マリ クリスティーナ氏 愛・地球博広報プロデューサー
コーディネーター	小出 宣昭氏 中日新聞社常務取締役編集担当

## 万博を生かすのは中部の使命 隣に住む外国人との交流を

須田氏

万博では二市町村（トヨタ、トヨタ）という事業がありました。愛知県の全市町村が、百二十の参加をホスピタリティ、ホームタウンとして受け入れたんです。

佐藤 マリさんの、万博の行で交流が生まれたこと、この話は大変面白かったです。あれだけ多くの人が万博にハマったのか、そこへ行けば世界が見えるし、交流ができるからです。

万博では二市町村（トヨタ、トヨタ）という事業がありました。愛知県の全市町村が、百二十の参加をホスピタリティ、ホームタウンとして受け入れたんです。

佐藤 マリさんの、万博の行で交流が生まれたこと、この話は大変面白かったです。あれだけ多くの人が万博にハマったのか、そこへ行けば世界が見えるし、交流ができるからです。

万博では二市町村（トヨタ、トヨタ）という事業がありました。愛知県の全市町村が、百二十の参加をホスピタリティ、ホームタウンとして受け入れたんです。

佐藤 マリさんの、万博の行で交流が生まれたこと、この話は大変面白かったです。あれだけ多くの人が万博にハマったのか、そこへ行けば世界が見えるし、交流ができるからです。

万博では二市町村（トヨタ、トヨタ）という事業がありました。愛知県の全市町村が、百二十の参加をホスピタリティ、ホームタウンとして受け入れたんです。

私は「愛・地球博」で広報プロデューサーをさせていただきました。この万博のテーマは「自然の叡智」と「地球大交流」でした。二十一世紀の課題である地球環境をどう守るか、そして世界の環境破壊のいかに要因は戦争ですか、それを防ぐため世界の人々と交流、お互いの理解をいかに深めていくか、この二つが重要でした。リニア開通や企業、最先端技術など、環境に対するさまざまな提案がありました。多様な価値観と出合い、共有するイベントもありました。どれも素晴らしいものでした。どれも素晴らしいものでした。

それは、一般の人にも交流やホスピタリティの心があったこと。長い歴史の中で「悪いですね」「どこから来たんですか」という会話が生まれたり、初めて会った人に「ジュースを買ってあげたりして」とか、成功はそれを示し、財産と

で始まりました。トラスへの寄付で相続時の農地を買い、自然を保全しようという民間の活動から生まれた制度です。保赤の作業では、万博の成功はそれを示し、財産と

の雇用があり、リタイアして地域の役に立ちたい人はホスピタリティの仕事がある地域。万博で新しい社会行動が生まれたこの時を逃さず、そういつか支えられる魅力ある地域になってほしいと思つています。

佐藤 はい、外国の人から見た日本ですかね。思いがけない映像や不思議な映像もたくさんありました。二十一年の監督が注目したのは、日

小出 万博会場でも映された映画も非常にユニークでした。

佐藤 はい、外国の人から見た日本ですかね。思いがけない映像や不思議な映像もたくさんありました。二十一年の監督が注目したのは、日

たんですが、とても温かく迎えてもらえました。帰国が迫ると「帰りたいくない、スケジュールを変更してくれ」といふ人もいました。空港で見送るときは、みんな涙、涙だったんです。